

令和2年度 第1回 門司区多職種連携研修会 報告書

1. 実施概要

- ① 実施日時 令和2年12月7日（月）19：00～20：30
- ② 実施場所 門司市民会館
- ③ テーマ 『新型コロナウイルス感染症の実情と予防策について』
- ④ 講演
 講演1：「ついに、うちにもコロナが！！」
 小規模多機能型居宅介護 にぎわい広場リラ
 本部長 松浦 智彦様
 講演2：「新型コロナウイルス発生！そのときどうする？！」
 社会医療法人財団 池友会 新小文字病院
 内科救急科医長 富永 尚樹先生

⑤ 参加者

種別	人数
医師	6 名
歯科医師	7 名
薬剤師	6 名
看護師	43 名
介護支援専門員	29 名
ソーシャルワーカー	5 名
リハビリ	4 名
介護職	25 名
行政・他	34 名
合 計	159 名

種別	事業所数	参加者
病院・診療所	15	55
歯科医院	8	8
薬局	5	6
訪問看護事業所	2	4
居宅介護支援事業所	12	24
介護施設	8	25
介護事業所	9	25
行政・他	4	12
合計	63	159

・実行委員12名を含む

⑥ 内容

時 間	内 容
18:57～19:00	開会アナウンス（にった歯科医院院長 新田 洋司先生）
19:00～19:03	開会挨拶（門司区医師会会長 吉田 良先生）
19:03～19:05	講師紹介（座長：辻医院院長 辻 雄一郎先生）
19:05～19:40	講演1（にぎわい広場リラ本部長 松浦 智彦様）
19:43～20:28	講演2（新小文字病院 内科救急科医長 富永 尚樹先生）
20:29	総評（門司薬剤師会会長 松丸 博幸先生）
20:30	閉会

2. アンケート

① 回答数 126枚（回答率 80%）

② 回答者内訳

職種

医師	2
歯科医師	4
薬剤師	5
看護師	43
介護支援専門員	26
ソーシャルワーカー	5
リハビリ	3
介護職	23
行政・他	15
合計	126 名

③ 満足度
(n=126)

大変有意義だった	51
有意義だった	56
まあまあだった	14
もの足りない	2
不満足	3

④ 今後の職務に活かせるか？
(n=126)

大いに活かせると感じた	87
いづらか活かせる	30
ほとんど活かさない	1

⑤ 今後の研修会場はどこが良いですか？
(n=126)

門司区医師会館	18
門司市民会館	59
オンライン研修	32
その他	5

3. 研修会へのご意見

研修会の目的や内容についてのご意見	大変有意義だった（理由）
	コロナの恐怖と冷静に予防策をすることの必要性を理解できた。（感染対策の徹底）
	初動の大切さ、不安からは不満や差別が生じるので、思いやりの心を忘れずに業務したい。
	テレビ報道だけでは聞けない話を聞けてすごく良かった。
	疾患に対する情報の伝達が大事だと再認識した。
	資料だけでも大変参考になった。
	コロナの研修は今まで受けてきたが、実体験された生の声が聞けて良かった。
	新型コロナウイルスに対する考え方が変わった。
	誹謗中傷の多さに驚いた。
	緊急時の対応の役に立つと思う。
	有意義だった（理由）
	新小文字病院のコロナ発生時の様子がよく分かった。
	施設での感染対策を詳しく聞きたかった。
	新型コロナウイルスのことが少し理解できた。
	疑心暗鬼に陥ることはひどいと思った。
	身近な病院での出来事で大変驚いた。
	クラスター発生後、本部を中心に対応したことで管理が出来たと思った。
	新型コロナ対応の冨永先生のリーダーシップに感動した。
	日頃のリスク管理、情報の一元化、記録の大切さ、迅速な対応が必要だと思った。
	長期化するコロナ対策の厳しさを痛感した。
	一致団結！結束力！は心に響いた。
	クラスターは怖いので、混乱しない様にしっかりとした組織を作りたい。
	まあまあだった（理由）
	施設でのコロナ発生後の具体的な対応を詳しく聞きたかった。
	経験談として知りたい内容があまりなかった。
	保健所による指導が大きいと思った
	もの足りない（理由）
	リウさんのコロナ発生後の具体的な対応を詳しく聞きたかった。
	不満足（理由）
	自施設の紹介が長すぎた。

今後の職務に活かせるか	大いに活かせると感じた（理由）
	まだ感染対策は必要。医療従事者としての責務を果たしたい。
	コロナ対応での職員の業務の分担など大変勉強になった。
	職場で話し合っ、感染対策を考えたい。
	今行っている感染対策が間違っていないと思えた。
	自施設で発生した場合にどうなるか想像することができた。
	情報の共有と教育が大切なので、今後考えたい。
	コロナ発生後に混乱の波が来ることがわかったので、対策や対応をしていきたい。
	発生後はスタッフ皆で頑張ることが大事だと思った。
	クラスターの発生だけは防ぎたいと思った。
	事前準備できるものは、しっかりと準備しておきたい。
	CSCA等災害時の対応は非常に勉強になった。
	人命だけではなく、経営にも多大な影響があることを実感した。
	記録の大切さを再認識した。
	いづらか活かせると感じた（理由）
	手洗い・消毒・マスクなど感染対策を行い、罹患しない様に気を付けたい。
	日ごろの感染対策や対応が必要だとわかった。
	共感できることが多かった。
	現状に見合った対策を今後考えないといけないと思った。
	発生した後の手順が分かった。
	必要以上の不安を持たない様に、正しい知識で関わりたい。
本日の研修会へのご意見とご感想	会場も良く時間も良かった。
	感染の話だけでよかった。
	今、気持ちの緩みが出ているので、たくさんの方の想いを聞けて良かった。
	実際に体験した話により、危機管理とチームワークの大切さを学んだ。
	新小文字病院の大変さ、辛い思い等が分かった。
	明日は我が身なので、大変参考になった。
	会場内の換気は良いが、通路付近は寒かった。防寒対策が必要。
	緊急事態時の思いやりが大切。
	風評被害を聞いて胸が痛くなった。
	施設としてのコロナ対応を詳しく聞きたかった。

本日の研修会への意見と感想	笑いもあり、考えさせられ良かった。
	後ろからはスライドの時が見えにくかった。（冊子があってよかった）
	新型コロナウイルスに最前線で戦って頂きありがとうございます。
	自分たちの危機管理不足を痛感した。
	富永先生のお話をまた聞きたい。
	第3波が来ているので、今のタイミングで聞けて良かった。
	ウイルスよりも他人の言動のほうが怖い。病気を正しく理解し差別をなくしたい。
	今日のような広い会場が安心できる。
	今後もこのような研修を受けたい。
	冬は寒いのでオンライン研修が良い。
	質疑応答がないなら、DVDでの研修でも良いのでは。
	感染対策を行っていたのに、開演前の参加者同士の会話が多かった。
	話の意図がよくわからない。

4. 講師へのご質問

「にぎわい広場リウ」様へのご質問

【質問】御利用者や御家族の気持ちはどのようなものだったのですか？
【回答】御家族様が不安になられていました。当時の新型コロナウイルスの死亡リスクの高さもあり、事業所に連絡が相次いでいました。なかには傷心の方もおられました。電話の件数はそこまで多くなかったです。
【質問】結局、コロナウイルスはどのような経路（誰が）で施設内に持ち込まれたのですか？そして、どのような形で施設内に伝播していったのかが、具体的に解明できたのですか？
【回答】小規模多機能を利用されている方が、別の疾病でA病院に入院されているところで発熱し、PCR検査の結果陽性でした。その後、濃厚接触者に対しPCR検査を実施したところ、当該施設でもスタッフ2名と御利用者様1名の感染が確認されました。入院されたA病院でも感染者が確認されているため、感染経路は不明ですが保健所の指示に従い、十分な感染対策を実施したため、それ以上の発生を防ぐことができたと考えています。
【質問】発症が分かってから、具体的にどのように業務内容を見直したのですか？それに対して、どのように職員を配置仕直したのですか？
【回答】グループホームの濃厚接触者ではない職員と幹部の総人数を確認し、グループホームと小規模多機能を運営できるよう業務内容を見直しました。食事と排泄・弁当配達・見守りに業務を絞り、命に係わる事を最優先に行って頂きました。食事も外部委託に切り替えました。緊急時の為、人員配置基準は満たせない状態でした。